

次の成長カーブを見据えて

千葉県経済の現状

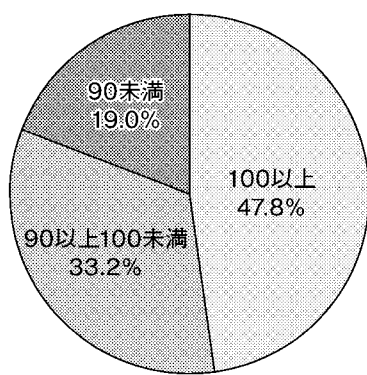


インタビュー

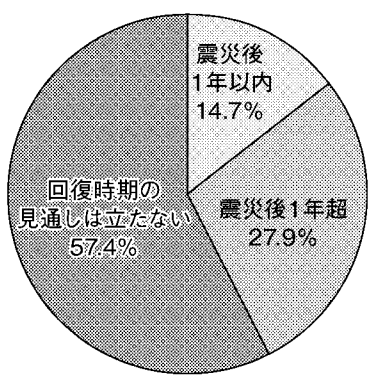
千葉県経済の現状をどう見えていますか。
「東日本大震災の発生前から続く先行きの不安や不満は解消してない。個人が安心して支出できる環境が整わないと」

ちばぎん総合研究所 水野 創社長

震災前を100とした場合の業況の回復度合い (11年9月時点)



震災前の水準(100)に戻る時期の見込み (対象は震災後の回復状況が100未満の企業)



出所: 千葉経済センター「千葉県企業経営動向調査」

東日本大震災の発生から7カ月あまり。県内企業の景況感は上向いているものの、円高や世界経済の減速、政治の混迷など、先行きの不透明感は増している。生き残りをかけ、県内でも多くの中堅・中小企業が海外での飛躍を目指す今、千葉は国内と海外を結び「日本の玄関口」として、ポテンシャルを発揮しつつある。

日本の玄関口「千葉」の重要性高まる

県内企業の景況感

防災グッズや節電・クールビズ関連商品のけん引により、工場稼働率や売上高が震災前の水準に回復していることがあつた。一方、地震や津波に対する恐怖や放射能汚染の風評被害などにより観光客が減少しているホテル・旅館業界では、8月中旬に実施した県内企業の業況調査によると、震災前の水準を100とした場合の回復状況は、全産業ベースで震災直後の76・0から9月中旬には93・1となった。

この背景には、サブライチエーションの予想以上の復旧に伴う増産の動きや消費自粛ムードの一巡、佐久間英利理事長「千葉銀行頭取、043・242・5523」の調査部門の千葉経済センターが10月に実施した県内企業の業況調査によると、震災前の水準を100とした場合の回復状況は、全産業ベースで震災直後の76・0から9月中旬には93・1となった。

佐久間英利理事長「千葉銀行頭取、043・242・5523」の調査部門の千葉経済センターが10月に実施した県内企業の業況調査によると、震災前の水準を100とした場合の回復状況は、全産業ベースで震災直後の76・0から9月中旬には93・1となった。

進む「半島性」の解消

千葉のポテンシャル最大限に



勢を背景に、新興国に流入していた資金が、より安全な投資先へシフトしつつあり、世界経済のけん引役を担っていた中国の成長にもかげりがあつた。オーストラリアを世界に通用する日本語に、と意気込む

県内中小の海外進出

千葉経済センターがまとめた千葉県内の新興国進出動向調査によると、進出している「ちばアクリン」など、多くの中堅・中小企業が生き残りをつかき、海外に活路を見出す動きは、今後も加速しそうだ。



東京湾アクアライン（海ほたる）

今年7月時点で海外に進出している県内企業の割合は29・6%と07年5月の前回調査に比べて5・0%増加した。特に中小非製造業に占める海外進出企業の割合は10・2%増の22・0%と、大幅に増加した。調査を受託したちばぎん総合研究所の観音寺拓也調査員は「製造業の海外進出が一巡する一方、飲食業やソフトウェア産業などのサービス業が新たな市場を求め、進出の動きが強まっている」と見ている。

直近では、世界最小の医療用縫合針の開発で知られる河野製作所（千葉市川市）が中国・天津市の医療機関と年内にも契約を結び、医療用縫合針などの納入を開始することを明らかにした。採用実績をもとに中国各地の医科大学や病院を開拓していく。同社の製品は、ほとんどが最先端の外科手術に用いられる高付加価値品だが、中国では日本と同等の市場規模があると推定されており、しかも毎年2ケタ成長を続けているという。また、温度計や圧力計の製造などを手がけるネステック（千葉県習志野市）はインドに工場を建設中。来年2月に中・小型船舶向け4ストロークエンジン向けに非水銀式温度計の生産を始める。船舶への有害物質の搭載や使用を制限する「シジブリサイクル条約」の発効を控え、交換需要が大幅に増えると判断。インドを拠点に欧州や中東、アジアの造船会社やエンジンメーカーに販売する計画だ。

千葉県特集

国内立地の受け皿に

千葉県は、県内に成田国際空港を擁し、日本の玄関口として、こうした企業・個人の格好の受け皿となる素質を秘めている。これまでの東京都市圏や他県との交通アクセスに難があり、特に内陸部の企業立地として、これまで後れをとっていた感があるが、現在、急速に状況は変わりつつある。鉄道路線ではつくばエクスプレス（TX）や成田スカイアクセスが開業。東京湾アクアラインの通行料引き下げや圏央道の整備による道路網の拡充も進む。県の悲願だった半島性の解消は、千葉のポテンシャルを最大限に引き出すだろう。県でも、長年凍結していた工業団地の整備に向けて動き出すなど、受け皿作りを急いでいる。県内には、千葉大学をはじめ、全国屈指の実力を持つ理工系研究機関も数多く存在する。世界に通用する技術の「シーズ」には事欠かない。千葉発の技術が、千葉で育ち、世界に飛翔する。足元の経営環境は厳しいが、希望はある。

キミカは、海藻から生まれる安心の天然物質「アルギン酸」を世界に供給しています。

食品用増粘安定製剤

KONBUSAN KIMICA

昆布酸

アルギン酸ナトリウム
キミカルギン

KIMICA

ALGIN

アルギン酸エステル
キミロイド

KIMICA

KIMILOID

株式会社 キミカ www.kimica.jp/

本社 東京都中央区八重洲2-4-1 〒104-0028 Tel. 03-3548-1941 Fax. 03-3548-1942 E-mail: tokyo-office@kimica.jp
大阪営業所 大阪市淀川区西中島3-23-16 〒532-0011 Tel. 06-6300-1310 Fax. 06-6300-1306 E-mail: osaka-office@kimica.jp
千葉営業所 千葉県富津市大船1029 〒279-0001 Tel. 0439-87-1131 Fax. 0439-87-3613 E-mail: chiba-plant@kimica.jp
KIMICA America Inc. KIMICA Chile Ltda.

ディーゼル機関排気ガス用温度計

温度レンジ：0～600℃ / 50～650℃

脱 水銀
水銀を使用せず、環境にやさしい!!

長 寿命
耐久性も飛躍的に向上!!

超 耐振
従来の製品の耐振性能をはるかに凌駕!!

SEGTEMP 75 SEGTEMP 50

NESS ネステック株式会社
FIT FOR USE www.nesstech.co.jp

本社・工場 〒275-0024 千葉県習志野市茜浜1丁目12番1号
TEL 047(453)5502 FAX 047(453)1181
〒532-0011 大阪市淀川区西中島6丁目7番3号
関西営業部 TEL 06(6304)5301 FAX 06(6304)3523

分別廃棄型リングバイnder 新登場

今までファイル、バイnder等に取り付けられていたバイnder金具を、使用済ファイル、バイnderの廃棄時に、取り外しが出来るようになったことはありませんか？
また、ファイル表紙のみが破損したり、傷みが激しく、買い替えを要するが、破損のないバイnder金具は出来ることなら再利用したいと思われたことはありませんか？
分別廃棄型リングバイnderは、このようなご要望に対し、確実にお答え致します。
廃棄時の分別回収への容易さと資源の有効活用を目指した新製品の登場です。
私たちは事務用リングバイnderの専用メーカーとしてこれからも社会に貢献していきます。

<取扱い商品>
平テコ式リングバイnder 約100種類
立テコ式リングバイnder 約300種類
手動リングバイnder 約30種類
その他のリングバイnder 約300種類
バインド金具(分別廃棄型) 約70種類
クリップ金具 約30種類

これ以外にもお客様の要望にあわせ様々な特注商品の提案をしています。

株式会社 熊谷製作所
〒271-0054 千葉県松戸市中根長津町168
TEL: 047-368-8787 FAX: 047-363-8241
URL http://www.kumagai-mfg.co.jp
E-Mail sales@kumagai-mfg.co.jp

SOLAR 太陽光発電 × 環境にやさしいガスシステム

太陽光発電と都市ガスって、とても相性がいいんです!!

家庭用燃料電池 エネファーム ENO-FARM
家庭用ガスエンジン エコウィル ECO-WILL
高効率給湯器 エコジョーズ ECO-JOZ

京楽ガス

plantbottle™

植物生まれのPETボトル*が、世界を変える。

Live Positively Coca-Cola 世界をプラスにまわそう

*プラントボトルは植物由来の素材を一部(5～30%)使用しています。

利根コカ・コーラボトリング株式会社
TONE COCA-COLA BOTTLING CO., LTD. (コカ・コーラ指定会社) Yes! リサイクル No! ボイ捨て